

第17回日本音楽療法学会中国支部大会・第24回講習会

♪ 最終案内 ♪

期 日 : 平成29年6月10日(土)・11日(日)

会 場 : 学校法人福山大学宮地茂記念館
〒720-0061 福山市丸之内1丁目2-40 (JR福山駅北口)
TEL : 084-932-6300

主 催 : 日本音楽療法学会中国支部

大会準備室 : 日本音楽療法学会中国支部第17回大会準備室
〒726-0011 府中市広谷町919-3 (担当: 野路)
TEL : 082-814-3161・FAX : 0847-47-1055
E-mail : mtcyuugokusibutaikai@gmail.com

支 部 HP : <http://jmta-cc.org>

大会 E-mail : mtcyuugokusibutaikai@gmail.com

スケジュール

6月10日 第24回講習会

12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	19:00~
受付	第1講 「動くことの素敵さを 味わえる支援について」 岸本 真 先生	第2講 「ジャズを知って 音楽療法の引き出しを 豊かにしよう」 中西 隆 先生	第3講 「音楽療法における 援助観」 ～ICFの視点から 考える～ 木村 敦子 先生	交流会 会場 「居着家 一楽 さんすて福山 2番街」

6月11日 第17回支部大会

9:00	9:30	9:40~11:10	11:20~11:50	12:00	12:30~	13:30~15:50	15:50~
受付	開 会 式	教育講演 「障害者の権利と 障害者差別解消法」 横藤田 誠 先生	理事長講話 村井 靖児先生	総 会	昼 食	研究発表 ポスター発表 口演発表	閉 会 式

第1講

「動くことの素敵さを味わえる支援について」

岸本 眞 先生

(堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい
リハビリテーション部(ベルデ地域支援センター兼務)

当たり前のように「抱く、覗き込む、揺らす、触る、まさぐる、そして語りかけ、歌い、笑う」。限りなく小さな動きの世界で体験している重症の障害を持たれた人たちに対して、「動く」ことで知っていく世界の素敵さを、支援する人たちはみんな、どうにかして伝えたいと願っています。ご家族や暮らしを支えている介護者の方々は、その支援の仕方に専門的な方法論を持っていなくても、今ここにある暮らしのごく小さな積み重ねの中で「あなたはきっとそう思ってるよね」と確信できる瞬間をご存じです。そこに生まれる関わりは、赤ちゃんの生活世界に生まれる関係性の広がりによく似ていると思います。私は理学療法士としてその素敵な世界をいつも提供できればと願っていますが、音楽療法でもきっと同じではないかと思い、重心の方へのささやかなリハビリ風景や障害を持って人生をスタートした赤ちゃんとの関わり風景を紹介しながら、音楽のもつ始原的な力の意味や意義、また最近の認知系科学などとも関係づけてお話させて頂けたらと思っています。

第2講

「ジャズを知って音楽療法の引き出しを豊かにしよう」

中西 隆 先生(ジャズピアニスト)

- 1 まず大まかなジャズの歴史をお話しします。
- 2 ジャズの要素、リズム、ハーモナイゼーション、アドリブなどの基本ルールについて、お話しします。
- 3 ジャズはカッコいいハーモニーの宝庫!! II⇒V、テンションノートなどについてお話しします。
- 4 ジャズの音楽療法への応用にチャレンジしよう。

音楽療法の2025年問題は、クライアントが新しい音楽、多彩な音楽を希求することでもありません。

第3講

「音楽療法における援助観」—ICFの視点から考える—

木村 敦子 先生(広島文教女子大学)

音楽療法は、個々のニーズに応じて、音楽療法士が専門的な技術をもって音楽を提供し、その成果を分析しながら行う支援の方法とされています。個々のニーズを捉え、より良い方向へとセラピーが発展していくためには、アセスメントが重要となってきます。アセスメントは、周知のとおり、対象者の状態像を明らかにするものですが、現在の状態や状況をどう見るのか、というのは、セラピストの援助観に基づいてなされます。さらに、音楽療法においては、疾病や心身の機能について把握するだけでなく、「音楽」の個別性にも着目し、多面的、総合的に捉えていくことが必要となります。

そこで、ここでは、医療・福祉・教育の分野で活用されているICFの視点をもとに、音楽療法実践について考えていきたいと思っています。

支部大会

6月11日（日）

大会テーマ 「音楽療法における関係性を考える」

教育講演

「障害者の権利と障害者差別解消法」

横藤田 誠 先生（広島大学）

《要旨》

障害者はかつて一人前の「人」として扱われなかった。恤救規則（1874年）や救護法（1929年）により救貧の対象とされるか、あるいは、座敷牢に精神障害者を閉じ込める「私宅監置」を公認した精神病者監護法（1900年）のように治安維持のための排除・隔離の対象でしかなかった。

日本国憲法（1946年）の下ではじめて、障害者は人権の主体と位置づけられた。障害者施策は憲法上の人権に基づくものとなったが、そこで想定されたのは主として生存権（憲法25条）だった。この権利の重要性はいうまでもないが、「健康で文化的な最低限度の生活」の保障のために障害者を地域から隔離して施設で保護することが当然視され、それが居住・移転の自由や自己決定権等の自由権や平等権を侵害しかねない点を見えにくくしたという現実がある。

ようやく近年にいたって、障害者の権利に対する新しい見方が生まれてきた。1つは、障害者を専ら「保護」の対象と見るのではなく、「自立・自律」の主体と見る障害者観の登場である。もう1つは、直接差別のみならず、間接差別や合理的配慮の不提供をも差別と見る「平等」「差別」の新たな概念が、障害者差別解消法（2016年施行）によって法的に確立したことである。

本講演では、障害者の人権の過去と現在を、事例を交えて振り返った後、障害者の権利をめぐる新たな潮流である「自立・自律」と「平等」の展開について、現状と課題を検証していく。最後に、昨年起こった障害者施設での殺傷事件に触れて、障害者の個人としての尊厳の意味を確認したい。

講師プロフィール

横藤田 誠

1956年、福山市生まれ。

広島大学大学院社会科学部法律学専攻博士課程後期単位修得。

宇部短期大学講師・助教授、広島国際大学助教授・教授を経て、

現在、広島大学大学院社会科学部法政システム専攻教授。

専攻は、憲法・医事法。研究テーマは「不利な立場にある人々の人権」。

著書に、『法廷のなかの精神疾患』（日本評論社、2002年）、『裁判所は「権利の砦」たりうるか』（編著、成文堂、2011年）、『人権入門 憲法/人権/マイノリティ』（共著、法律文化社、2017年第3版）など。

得意言語は広島弁。好きなものは広島カープとたこわさび。嫌いなものは権威主義とピーマン。

理事長講話

日本音楽療法学会理事長 村井 靖児 先生

研究発表

ポスター発表

上田 綾子	知的障碍児Aの打楽器を用いた音楽活動の効果 ～身体的持久力の保持・向上を目的としたアプローチ～
金 秀 光	韓国の原爆被害者に対する音楽療法
権代 恵美	保育における個別支援に音楽療法を用いる有効性 ～Aちゃんの 行動変化を導く即興歌が自主性へのテーマソングへ～
松本 昌奈 園田 鐘子	認知症者における個別音楽療法 —認知機能への影響と活動選択における一考察—
村上 敬子	急性期病院ではじめる音楽療法のこころみ
松岡 美幸	介護予防教室における音楽療法の取り組み ～表現することの楽しみについて～

- ・ポスター発表は、発表者の在籍時間を13:30～14:10といたします。
- ・ポスター前での発表はありません。
- ・ポスターは9:30より掲示します。

口演発表

座長 : 石井 明子

14:10	宮迫 幸枝	ADHDと思われる双子に対する音楽療法 ～音楽で一緒に遊ぶこと～
14:35	伊川 真優	集団活動参加を目指した児童発達支援センターでの 音楽療法の一事例～集団活動と補完的個別対応との併用～

座長 : 栗野 真湖

15:00	金築 朋子	昔なじみの関係を活かした歌唱活動がブローカ失語症A氏の 対人交流機会を増やした一症例
15:25	西原 佳世	高次脳機能障害者への個別音楽療法～閉じこもり～外へ～

参加者の皆さまへ

受付

- ・903 プレゼンテーションルーム前で受付をいたします。
- ・受付で名札ホルダーをお渡しいたしますので、期間中は必ず着用してください。名札を着用されていない場合、各会場への入場はできませんので、ご了承下さい。

講習会

- ・講義開始後 20 分以上遅刻された場合、受講証明書は発行できません。
- ・受講証明書の発行については、抄録の「講習会 受講証明書の発行について」をご覧ください。
- ・レポートの提出については、抄録の「講習会 レポートの作成について」をご覧ください。

録画・録音

- ・プライバシー保護のため、講習会期間中、会場での録音・録画・写真撮影は厳禁です。

昼食

- ・昼食場所は 803 研修室をご利用ください。飲み物の持ち込みはペットボトルなど蓋つき容器のみ可です。
- ・会場周辺に、飲食店、コンビニエンスストア等もございます。

クローク

- ・クロークは設けません。JR 福山駅構内のコインロッカーをご利用ください。

ゴミ

- ・期間中のゴミは各自お持ち帰り下さい。

その他

- ・会場内では携帯電話の電源をお切りください。
- ・会場内は、全面禁煙です。

参加のご案内

参加のお申し込みを以下の要領（メール・FAX 又は郵送）で受け付けております。
当日の混乱を避けるため、ぜひ事前にお申し込みください。

1. 参加申し込み方法について・・・以下の2通りの方法で申し込みができます。

1) メールでの申し込み

日本音楽療法学会中国支部ホームページ <http://www.h-bunkyo.ac.jp/jmta-cc/> へアクセスし
申込みフォームへ記入の上、大会準備室 E-mail : mtcyuugokusibutaikai@gmail.com
までメール添付でお申込みください。

2) 郵送または FAX での申し込み

別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、大会準備室まで郵送または FAX で
お申し込みください。
電話での申し込みは受け付けておりません。

2. 参加費について

参加費は、当日、受付にてお支払ください。参加費は表の通りです。

	講習会・大会	講習会	大会	当日受付	交流会
会員 (学生会員)	4000円 (2000円)	3000円 (1500円)	2000円 (1000円)	各500円 プラス	3,000円
一般 (一般学生)	6000円 (3000円)	5000円 (2500円)	3000円 (1500円)		

3. 交流会について

今大会の交流会は、10日（土）19時より「居酒屋 一楽」で予定しております。
福山駅南口 ホテルニューキャッスル前で会場の近くとなります。よい交流の場となれば
と思っております。

4. 宿泊について

宿泊の手配は各自で行ってください。宿泊についてのお問い合わせは大会準備室ではお受けす
ることができませんのでご了承ください。

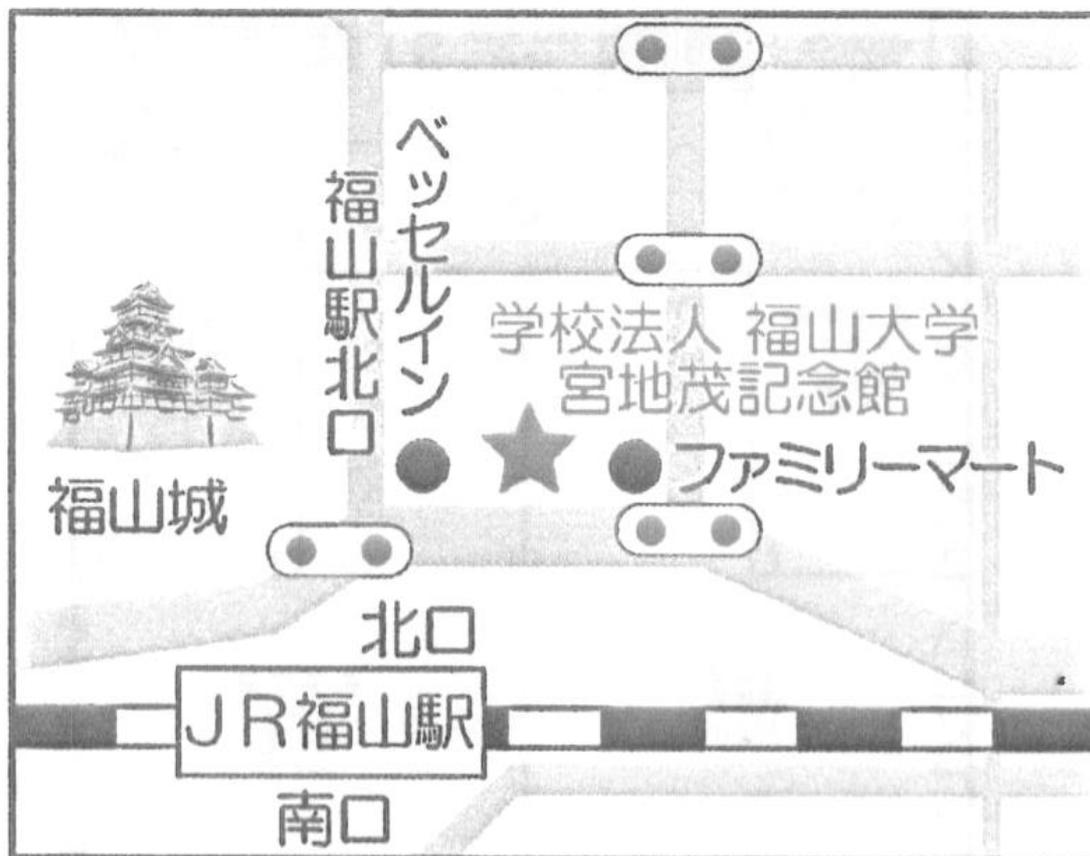
5. 事前申し込み締め切りについて

平成29年 5月31日（水）

6月1日以降の参加希望は当日参加扱いとなりますので、ご注意ください。

6. アクセス・交通案内

近隣の駐車場には限りがあります。公共の交通機関でお越しください。



学校法人福山大学 宮地茂記念館

〒720-0061

福山市丸之内1丁目2-40

TEL: 084-932-6300

JR・バス等公共交通機関利用の場合

JR 福山駅北口より徒歩2分（駅北口目の前）

お車でお越しの場合

福山東ICより約20分 福山西ICより約30分（当日の交通状況により変化します）

近隣に有料駐車場があります。（JR 福山駅南側及び北側）

お申し込み・お問合せ先

中国支部大会準備室

〒726-0011 府中市広谷町 919-3

保健福祉総合センターリフレ内

府中市社会福祉協議会 野路

TEL : 082-814-3161

FAX : 0847-47-1055

Mail: mtcyuugokushibutaikai@gmail.com